

教育DXレポート

生成AI時代の学校運営とガイドライン整備

— 学びと校務における利活用の現在地 —

近年、生成AIの急速な普及により、学校現場は新たな転換点を迎えています。生徒の多くはGoogle検索などで日常的に生成AIに触れ、調べ学習やレポート作成、読書感想文などの課題に活用しているケースも少なくありません。学校が生成AIに関する方針を示さないまま利用が広がれば、学びの質への影響や、学校内外の生活指導にも大きな影響を及ぼす可能性があります。

生成AI活用をめぐる現状と課題

重要なことは、生成AIを「利用する/しない」という議論ではなく、生成AIへの関わりを「どのように設計するか」という視点です。生成AIは、情報検索、文章生成・要約、アイデア創出、データ整理など多様な機能を持ち、学びや校務の効率化に大きな可能性をもたらします。一方で、誤情報（ハルシネーション）、情報の偏り（バイアス）、著作権や個人情報保護の問題など、慎重に扱うべきリスクも存在します。

生成AIの不適切利用は、学習評価の混乱だけでなく、情報漏えいやSNS等の炎上といった学校経営上のリスクにも直結します。無秩序な利用でも全面禁止でもなく、適切な方針のもとで活用する体制づくりが求められています。

「禁止」から「設計」へ

教職員の目の届く範囲で生成AIの利用を禁止しても、生徒の利用は止まりません。むしろ、学校が関与しない形で利用が進むことの方がリスクといえます。学校の役割は、生成AIへの正しい向き合い方・使い方（リテラシー）を教えること、批判的思考を育てること、AIと人間の違いを理解させること、そして人間にしかできない力を伸ばすことにあります。生成AIは「脅威」ではなく、「学びや学校を再設計する契機」と捉えることが重要です。教職員の利用についても同様の方針で検討を進める必要があると筆者は考えます。

そのために不可欠なのが、学校としてのガイドライン整備です。ガイドラインは単なる禁止事項の列挙ではなく、安全に活用するための共通基準を示すものです。授業内での利

用範囲、課題での利用ルール、校務利用の方針、出力内容の最終確認責任などを整理することが求められます。

また、個人情報を守る運用方針や、生成物をそのまま公開しないことといった基本的な留意点を明文化することも重要です。共通理解があることで、教職員も生徒も安心して活用に挑戦できます。そのため、ガイドライン策定は管理職の関与のもと、校内の合意形成を経て進めることが重要です。

学びと校務における具体的な活用

学びの場面では、個別学習や思考を深める補助として位置づける設計が求められます。英作文等の添削、探究学習での情報整理や論点構造化など利用場面は多岐にわたります。

評価については、口頭試問などの生成AIを利用できない状況で理解度を測る取り組みや生徒が効果的に利用しているかどうかを測る取り組みを組み合わせることも重要です。

校務においては、校務資料や教材作成、データ分析などに活用することで、教職員が本来注力すべき教育活動に時間をかけられるよう、研究を進めていくことが肝要です。生成AI利活用を前提とした社会で生きる子ども達を育むためにも、学校が主体的に方針を定め、リテラシー教育と結びつけながら段階的に活用を進めることが、これからの学校運営には欠かせません。

まずは現状把握として教職員・生徒の生成AI利用実態を簡易的に調査することからはじめましょう。その上で、教職員対象の生成AI利活用研修、生徒対象の生成AIリテラシー研修を実施するなど、学校全体としてリスクを抑えながら利活用を進める体制を作っていきましょう。

コアネット教育総合研究所のICT支援員、生成AI利活用研修サービス

コアネット教育総合研究所では多くの学校で教職員・生徒対象の生成AI利活用研修やガイドライン策定など、学校全体のDX化を推進するご支援が可能です。

学校の実情に合わせて柔軟に支援いたしますので、ぜひ一度ご相談ください。



学校教員・生徒向け

生成AI研修・出張授業

これからの時代に必要な生成AIの基礎知識や効果的な生成AI活用方法を学校教員向け研修や、生徒向け出張授業の形式でわかりやすくお伝えします。

学校教員向け生成AI研修例



- ・学校教員が押さえておきたい生成AI基礎知識・リテラシー
- ・教育現場における生成AIの活用事例
- ・AI活用時代に求められる資質・能力とその育成方法

生徒向け生成AI出張授業内容例



- ・生成AIの基礎知識、生活の中にあるAI
- ・生成AIを活用するメリット、リスクと著作権等リテラシー
- ・生成AIの活用例と社会で必要なスキル
- ・実際に生成AIを体験する 等

内容・実施時間、費用はご要望に合わせて柔軟に対応可能です。詳しくはコアネット教育総合研究所までお問い合わせください。

お問い合わせはこちら

住所 〒224-0003
横浜市都筑区中川中央1-26-10

TEL 045-914-3005
(担当：岡田、川田、坂本)

E-mail info@core-net.net

ICT活用に役立つ情報公開中

URL www.core-net.net/ict/

教育と学校経営専門のシンクタンク&コンサルティング企業



コアネット教育総合研究所

